

JAMS 関東地区 マレー語文献講読会のご案内

JAMS 関東地区の読書会参加者のうち、大学院生を中心とした一部の有志は、JAMS 関東地区読書会が開始される前の時間帯(金曜日の午後)を利用して、月 1~2 回ほどマレー語文献の講読会を行っています。見開き 2 ページほどの一つの記事を選び、それぞれ担当を割り当てて日本語に訳し、1、2 週間後にそれを持ち寄って訳を確認し合うというやり方で進めています。

各自興味のある記事を持ち寄るのが基本ですが、Utusan 社発行の *MASSA* が入手可能であるため、主に同誌から現代マレーシアの政治・経済・社会・文化の最新動向を伝える記事を選んで、講読文献としています。JAMS News 第 27 号で 2003 年 4 月から 9 月までに扱った文献をご紹介しましたが、それ以降、2003 年 10 月から 2004 年 1 月までに扱った文献は以下の通りです。

第 11 回 2003 年 11 月 4 日 “Konfrontasi Ekonomi Penubuhan Malaysia”, *MASSA*, 20-26 Sep 2003, pp.22-23.

第 12 回 11 月 26 日 同上、及び“Politik Lampu Jalan di Kawasan Tersisih”, *MASSA*, 8-14 Nov 2003, p.19.

第 13 回 2004 年 1 月 23 日 “Laporan Khas: Nilai Baru Wanita di Malaysia”, *MASSA*, 22 Nov-5 Dis 2003, pp.26-28.

第 11~13 回の参加者: 東條哲郎、坪井祐司、猿渡真帆、高橋廣太郎、西芳実、篠崎香織

本活動に興味のある方は、ふるってご参加ください。

連絡先: 篠崎香織